



前列左から吉田紀喜さん、森アイ子さん、長南繁井さん、久郷光徳さん、寺越英美子さん
後列左から菅原義勝さん、久保喜久子さん、鈴木博子さん、古賀カツミさん、伊藤博美さん

支えあいの心で寄り添う

厚別西地区福祉のまち推進センター(福まち)は2001年(平成9年)に設立されました。日頃活動している事務局員は10名。

設立時からのメンバーの1人森アイ子さん(78歳)は、15年ほど前に育児や家事で悩んでいたあるお母さんのことを思い出すといいます。「ご主人の仕事の都合で、7歳を筆頭に3人のお子さんとともに本州から移住してきて、知り合いもなく、北海道の寒さにもなじめず、すっかり心と体の調子を崩していました。」

当時主任児童委員をしていた古賀カツミさん(72歳)も、学校から情報を得るなどして協力。「先生も子どものことを心配していました。」と古賀さん。

森さんは他の福まちスタッフと交代で家庭訪問し、食事の支度や子どもたちの世話をしながら、お母さんの話をひたすら聴いたといいます。「私が伝えたことといえば、子どもたちが学校に行けるのも、ご主人が安心して仕事に行けるのも、みんなあなたがいるからなのよ、というくらいでした。」

そうした繰り返しの中で、そのお母さんは徐々に回復し、「今もたまに道端でお母さんの元気な姿を見るとうれしいです。成人して就職した子どもたちも頑張っているそう。」と顔をほころばせます。

朗報にみんなで万歳

福まち設立時からセンター長を務め、数多くの相談を受けてきた厚別西福まちのレジェンド久郷光徳さん(88歳)。とりわけ印象に残るのは、「子育てをしながらの家事が体に

厚別西地区福祉のまち推進センター

住所:厚別区厚別西2条3丁目 厚別西会館1階
(毎週月~金曜日、10時~15時)

電話:(011) 892-2229

福まちならではの活動を

厚別西 地区と厚別南地区の取り組みから

あつべつ区福まちかわら版

人と関係機関の結び役

厚別南地区福祉のまち推進センター(福まち)で事務局長を務めるのは小柳登喜枝さん(70歳)。民生委員としても16年目を迎えるベテランです。現役時代、NTT東日本で営業の管理職として活躍していた小柳さんですが、50代前半に体調を崩して退職。しばらく自宅マンションで静養する日が続きました。

公園を散歩していたところ、同じマンションの方から、管理組合の理事や町内会役員の仕事を勧められたのが、仕事一筋だった小柳さんの地域活動の第一歩でした。翌年は民生委員になり、さらに福まちにも関わることになりました。

現在、福まちでは、4人のスタッフが交代で相談を受ける体制をとるほか、小柳さん自身は、区の社会福祉協議会からの依頼で、福祉除雪事業の利用者と除雪ボランティアを組み合わせるなど、さまざまな分野で調整役を務めます。「人と関係機関の結び役かな」と小柳さんはいいます。

介護予防センターの協力でサロンが実現

福まちの役割の一つが、町内会ごとの福祉推進委員会立ち上げの促進です。しかし、地域での支え合いの必要性をあまり感じていない町内会があったり、町内会に加入していない高齢者が意外に多いこともわかつてきました。そこで、「一人ひとりに着目し、サロン活動を通じて支え合いの輪を広げてはどうか。でも、そうするには、福まちだけでは限界がある」と、日頃から関わりのある関係機関の協力を求めることにしました。

「健康長寿にはみんな興味がありそうだし、介護予防センターのやんわりした感じが福まちの活動に合いそう」と考えた小柳さんは、8年前、当時のセンター長に相談し、厚別区介護予防センター大谷地(厚別区大谷地東5丁目)に協力を呼びかけてもらいました。

介護予防センター大谷地も快く応じ、2011年(平成23年)、地域の高齢者の体力づくりや仲間づくりを目的とした転倒予防介護予防教室「サロンあえ~る」が始まりました。サロンあえ~るは、年々内容を充実させ、毎回多くの参加者に喜ばれています。

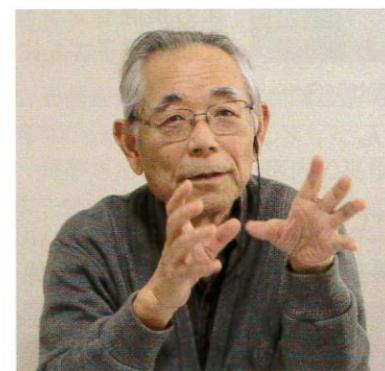
いいタイミングでお互いの思いが一致

介護予防センター大谷地の現センター長の佐藤綾さんは、サロンあえ~るに関わりながら、「私たちの役割には、



こやなぎ とよえさん

厚別南地区福祉のまち推進センター事務局長



いとう ふみあきさん

厚別南地区
福祉のまち推進センター長



さとう あやさん

介護予防センター大谷地
センター長

地域での介護予防活動の普及啓発や自主活動グループへの運営支援などがあります。これまで関わなかった方に必要な情報を伝えられるよう、福まちと連携を密に活動できたら」と考えていました。そんな佐藤さんに、3年前小柳さんから声がかかりました。相談会の開催協力についてです。まさにぴったりのタイミングでした。

早速、佐藤さんは福まちのある厚別南会館に出向き、「健康新相談・サロン」の中で、血圧測定や健康相談、ものわすれ相談プログラムを用いた相談会などを毎月開催。参加者は脳トレやおしゃべりをしながらゆっくり過ごしています。

「介護予防センター大谷地と協力し合うことで、充実した内容の事業を実施できます。」と、成果を振り返る小柳さん。福まちのボランティア登録者は15名。「行政書士の方も2名おり、活動の幅が広がる可能性を持っています。そのためにも、もう少しスタッフがほしい」といいます。

福まちセンター長の伊藤文明さん(77歳)は、「多様な人材の活用、関係機関との連携など、工夫を凝らしながら、地域の人たちから頼られる存在でありたい。その意味でも、各町内会がもっと福まちに関心を持ってくれると、さらに発展できると思います。」と期待を込めます。

厚別南地区福祉のまち推進センター

住所:厚別区厚別南15-10 厚別南会館1階
(毎週月~金曜日、10時~12時)

電話:(011) 890-0020